

新中期経営計画「GD100」を策定

2017 年度に売上高 1 兆円、営業利益 1,000 億円、営業利益率 10% 目指す

横浜ゴム(株)(社長:南雲忠信)は、2003 年度から取り組んできた中期経営計画「グランドデザイン(GD・10)」が終了したのを受け、新たに創業 100 周年に当たる 2017 年度に「売上高 1 兆円、営業利益 1,000 億円、営業利益率 10%」を目指す新中期経営計画「GD100」を策定した。「GD100」は、2017 年度までを 4 つの中期経営計画期間に分け、今回は 2006-2008 年度の「フェーズ 1」として、2008 年度に売上高 5,600 億円(2005 年度比 24%増)、営業利益 350 億円(同 60%増)を定量目標にすることとした。

「GD100」は「企業価値・市場地位において、独自の存在感を持つグローバルカンパニー」を目指すことを企業ビジョンとしている。そのための基本方針として「良いモノを、安く、タイムリーに」「トップレベルの環境貢献企業」「高い倫理観を持つ顧客最優先の企業風土作り」の 3 つを掲げた。

タイヤ事業戦略は「収益を伴った成長」を基本とした。高性能タイヤ「アドバン」を中心とした高付加価値「商品」、新素材、世界共通仕様、新工法などの「技術」、アジアでの生産拡大や小規模生産方式による「生産」の 3 つを核として成長を目指す。生産能力はアジアを中心に増強を図り、2005 年度の年間 4,560 万本を 2008 年度には 1,095 万本増やし同 5,655 万本(2005 年度比 24%増)にする。

MB 事業は「選択と集中」「グローバル」「新規商品」を基本とした。経営資源を油圧配管、建築用シーリング材など 8 分野商品とスポーツ事業に集中するほか、中国を中心とした海外生産を強化する。また電気・電子・光、新エネルギー分野の「新規商品」への進出も計画している。

技術戦略は、合成・変性技術、ゴム・オリゴマー配合技術などのコア技術を進化させ、天然素材、ナノ材料、変性ポリマー、導電性ポリマーなどの新材料、ナノ制御、精密加工などの新要素技術を開発する。これら新素材、新要素技術をタイヤ、MB 事業をはじめ、IT、電子材料などの新規事業に投入していく。

横浜ゴム株式会社 広報部 広報・IRグループ

〒105-8685 東京都港区新橋5丁目36番11号 TEL:(03) 5400-4531 FAX:(03) 3432-8430

THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD. CORPORATE COMMUNICATIONS DEPT.

36-11, Shimbashi 5-chome, Minato-ku, Tokyo 105-8685, Japan Telephone: 81-3-5400-4531 Facsimile: 81-3-3432-8430

「GD100」ではトップレベルの環境貢献企業を目指す方針を明確に打ち出し、世界全拠点での高度で同質な環境経営、全商品の環境対応化、産業廃棄物の100%再資源化を目標に定めた。環境性能に優れたフラッグシップタイヤの開発、工場でのゼロエミッション活動やコージェネレーション(熱電併給)システムの導入、徹底したムダ取りによる全社的なペーパーレス化、CO₂削減などを展開する。

■「GD100」の定量目標

<売上／収益目標>

	2005年度実績		2008年度目標		増減率 (05年度比)
売上高	4,519		5,600		+23.9%
タイヤ	3,357		4,330		+29.0%
MB	1,161		1,270		+9.3%
営業利益	219	4.9%	350	6.3%	
タイヤ	181	5.4%	280	6.5%	
MB	39	3.4%	70	5.5%	
経常利益	190	4.2%	270	4.8%	

単位:億円

<主要経営指標の目標値>

	2005年度実績	2008年度目標
営業利益率	4.9%	6%以上
ROA	4.7%	6%以上
有利子負債残高	1,630億円	1,800億円以下
総資産回転率	0.97回	1回以上
D/Eレシオ	0.96倍	1倍以下

このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム(株) 広報部 担当:池田

TEL:03-5400-4531 FAX:03-3432-8430